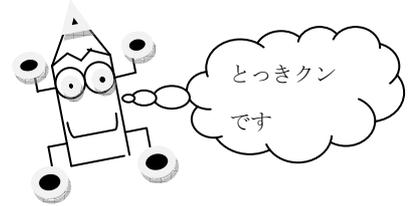


## 認定調査とつきクン通信（第1号）



### 1-1 (特記内容)

頚椎の疾患と腰椎の圧迫骨折のため痛みもあり、左の上下肢・手指にしびれと筋力低下があり、歩行・洗身・爪切りなどに介助が必要。調理も出来ない。

\*チェック（左上下肢・その他）あり\*

## あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

---

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見てください。

### 確認事項 (専門調査員からの確認内容)

テキスト33ページ～35ページにある確認動作は行えたのでしょうか。

### 回答 (調査員から)

確認動作は行っていない、介護者からの聞き取り筋力低下があるため判断した。

### 注意点

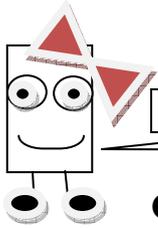
○ 確認動作が行えた・行えなかったか必ず特記に記載してください。

### 特記記載例

・痛みのため確認動作は行えなかったが、頚椎・腰椎圧迫骨折のため、左上下肢・左手指にしびれがあり、左上肢が上がりず洗身・爪切りに介助されている、普段歩行では足も上がりずつまづいたりする事もあると介護者から聞き取り選択した。

## 認定調査とつきクン通信（H24第1号）

（H24年度は特記、記載時のポイント・キーワードに重点を置き発行いたします）

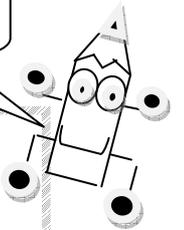


1-1

この特記の内容  
どうかな・・・

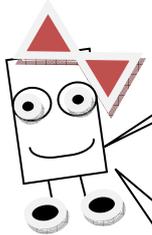
- 両下肢は体力・筋力が著しく低下しており行えない。体調に波があり徐々に悪化している。  
選択肢\*左下肢・右下肢\*

何か足りないと思うよ。  
ポイントを確認してね。



### ポイント

- \* 確認動作を行ってもらい、又は立会者から確認動作の内容を聞き取り、その状況の**キーワード(確認動作を行った・立会者から聞き取った)**を入れて特記を書く。

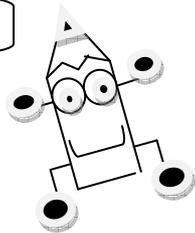


確認した。

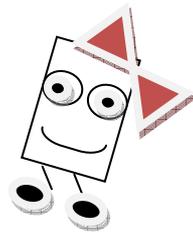
- 確認動作を行ってもらい**、両下肢の筋力低下があり**拳上はできた**。ただ両下肢共に**静止保持**ができなかった。体調に波があり徐々に悪化している。

選択肢\*左下肢・右下肢\*

これでどうかな？

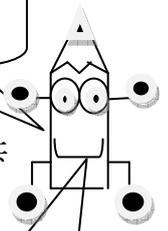


とつきクンです

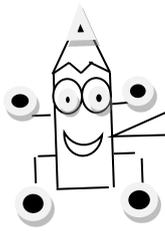


ケシコちゃんです。  
よろしく。

確認した内容を、特記にかかかないとダメだよ。



OK。必ず確認した内容のキーワードを特記に入れないとね。

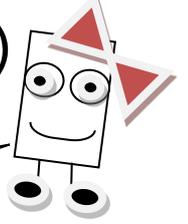


認定調査員の皆様。今年度も認定調査にご協力  
よろしく、お願いします。

介護保険課認定係  
平成25年4月1日

# 認定調査とつきクン通信 (H25第1号)

(H25年度は調査時の問かけ方や質問の仕方に重点を置き発行いたします)



聞き方って難しいよね。

## 1-1

### ①確認動作が行える場合 (聞き取り方)

- ・調査員も一緒にやってみせながら、**両腕を前や横に動かし肩の高さまで上げてみてください。**(止めてみせる。)
- ・**座った状態から膝を真っ直ぐに伸ばし、伸ばしたままの状態ができるかやってみてください。**(止めてみせる。)

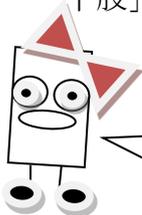
聞き取りが足りないと、特  
記が書けないよね。

#### ●一緒にいった状況

- ・自分でゆっくりと両腕を前や横に動かすことができ止められた。足は力が入らないと右足は上がるがすぐに下ろしてしまった。左は床から5cm位で止まってしまった。

#### 確認した状況から特記

- ・**確認動作を行ってもらい**両上肢は肩の高さまで拳上・静止できたが、右下肢は拳上できるが静止できず直ぐに下ろしてしまった。左下肢は床から5cmしか上げられない事から判断し「左下肢」「右下肢」を選択する。  
選択肢\*左下肢・右下肢\*



対象者の調査中の状況もよく  
観察して、確認しないとね。

### ②確認動作が行えない場合は本人や介護者から聞き取る。(聞き取り方)

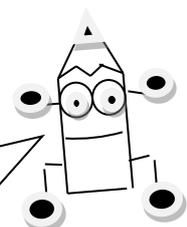
- ・**手・足等、麻痺や自分で動かそうと思っても動かないところはありますか。**
- ・**動けないため、介護者が手伝っていることはありますか。**

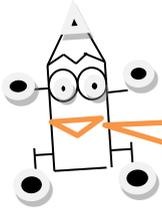
必ず確認して欲しい内容

- ・確認動作が行えない理由や状況の確認。
- ・過去1週間で頻回な状況・日頃の状況を確認。

- 聞き取った内容、選択した根拠等を具体的に「特記事項」に記載する。

四肢が欠損している時は、「その他」にチェックだよ。欠損によって目的の確認動作が行えない場合は欠損している部分の選択肢も該当し選択するよ。





今年で、とっきクンも4年目  
となりました。



介護保険課認定係  
平成26年4月1日

## 認定調査とっきクン通信 (H26第1号)

(H26年度は皆さんが実際に書いた特記から通信内容を作成します)

### 1-1 麻痺 (両下肢)

#### 調査員の特記

・腰部圧迫骨折及び心不全に近い状況での呼吸苦による活動低下に伴う下肢筋力低下があり、歩行器を利用し歩行を行っているがふらつきあり、転倒の恐れも多く見守り介助が行われている。最近はないが腰部痛が酷くなると、歩行困難になり、移乗・起き上がり・移動の全介助となる。



選択肢 両下肢：ある

#### 専門調査員からの問い合わせ内容

・特記はテキストの確認動作は、出来ないとの判断ですか。

#### 問い合わせの回答

・両下肢ベッドに座った状況で確認、かろうじて40度程まで上がったが、静止はできない。

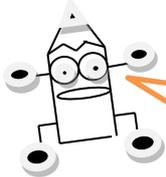


#### \* 調査員の特記に追記 \*

「**両下肢ベッドに座った状況で確認、かろうじて40度程度まで上がったが、静止はできない。**」  
と追記する。

選択肢 変更なし

#### 確認したかったことは・



確認動作を行ってもらった状況 (拳上・静止) 確認内容  
または、立会者から聞き取った内容が、特記に書かれて  
いないとわからないよね。

#### より良い特記

・腰部圧迫骨折・心不全に近い状況で呼吸苦による活動低下もあり、確認動作は両下肢共にかろうじて40度位まで拳上したが静止はできなかった。 選択肢 両下肢：ある

(起き上がり・歩行・移乗・移動はそれぞれの項目で記載してください)



今年度も頑張りマース。